

エクスプレッシンC

リーブオンで使えるピーリング剤

【特長】 自然由来のパパイン酵素を安定化
グリコール酸やサリチル酸に比べ刺激が少ない

【コンセプト】

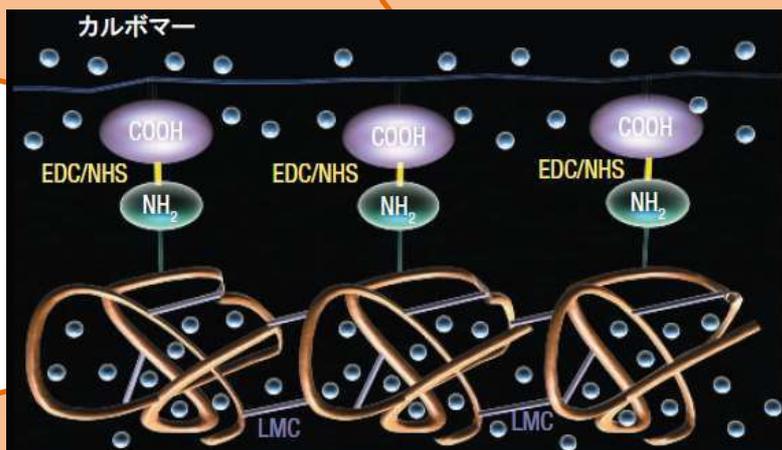
1960年代以降美容整形において、ケミカルピーリングは広く利用されています。肌のキメを整え、色ムラを無くしかつ強力な即効性があるからです。

しかし、刺激性の高さを危惧され、近年では、代替となる角質除去剤が開発されていますが即効性の低さや安定性の低さより化粧品への配合することが難しいとされています。

エクスプレッシンCは、肌に優しく、高品質な高分子量架橋パパイン重合体で、効果の実感と即効性の両方を兼ね備え、低刺激で安定的な効果を演出できる原料です。架橋技術(特許取得済)および酵素安定化に関する研究により、現在用いられているバイオ由来の肌質改善物質の弱点を克服しました。

スブチリシンよりも
熱に安定

サリチル酸よりも
高い角質除去能



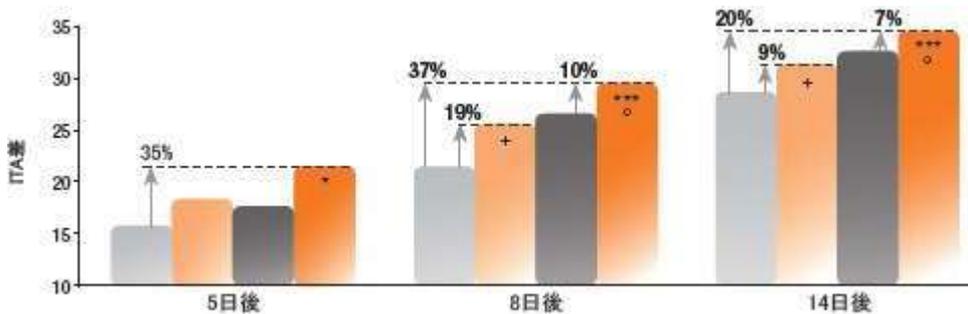
プロテアーゼ活性を
12週間保持

パパイン単体よりも
熱に安定

【効能・効果】

In Vivo での角質除去効果

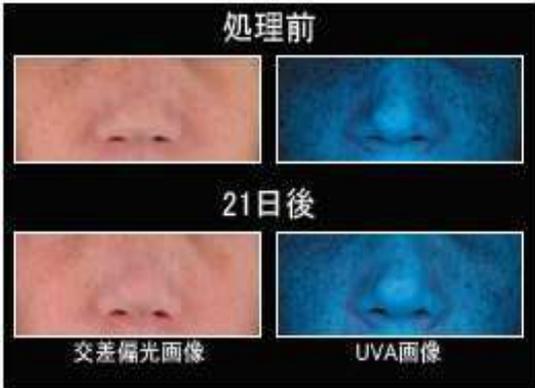
サリチル酸処理(0.2%および 2%)と比較したエクスプレッシン C(1%および 3%)の角質



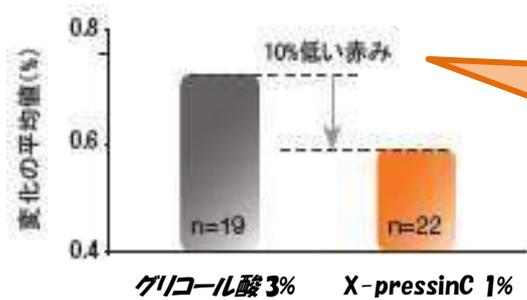
エクスプレッシン C はサリチル酸に比べ高い角質除去効果を有

21 日間の処置後の皮膚の明るさの変化

顔面部試験: プラセボおよびグリコール酸とエクスプレッシン C 比較し角質除去効果を評価。60 人の女性(35~65 歳)に 21 日間の処置後、Visia にて画像の解析を行った。



28 日間処置後の皮膚における紅斑の度合い



エクスプレッシンC による処置を受けた被験者は、3%グリコール酸による処置を受けた被験者に比して、紅斑が少ない(10%)

【商品情報】

商品名: エクスプレッシンC
 表示名称: 水、(カルボマー/パパイン)クロスポリマー、1,2-ヘキサンジオール、カプリリルグリコール、アルギン酸Na
 製造元: BASF

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしており、効能効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。